



地域連携の充実に向けて ～学校運営協議会の協議の改善～

地域連携を深め、地域とともにある学校づくりを進めるためには、学校運営協議会の協議の一層の充実が欠かせません。本市でも、「コロナ禍でもできる取組」や「コロナ禍だからこそできる取組」を地域と共に創意工夫して進めている学校がありますので紹介します。これらの事例を参考に、報告や説明だけでなく、学校の課題の解決につながる充実した協議となるよう工夫していきましょう。

1 子どもたちの地域に対する思いを反映させる

東岐波中学校では、生徒会役員が参加して、「地域に愛される東中生になるには」というテーマで、地域の皆さんと一緒に協議をしました。生徒会の生徒が直接、協議会に参加する中学校だけでなく、予め、代表委員会で児童が話し合ったり、地域に対する児童の思いを教員が把握したりして、協議会で提示する小学校もあります。協議会に参加する大人が、子どもたちの気持ちに応えようと、大変熱心な協議となりました。



2 地域の課題を反映させる ～地域の課題は子どもたちの課題～

本市では、本年度から、地域と学校の協働活動を推進する社会教育推進委員会(社教推)という組織が全地域に置かれました。学校と協働し地域の活性化を図っていく地域学校協働活動は、学校教育の充実にもつながる今後ますます大切になる活動です。常盤小学校では、学校運営協議会に、社教推の委員さんが参加され、地域人材の不足や子ども会の取組の衰退など、学校教育にもつながる地域の課題が示され、熱い協議が行われました。

3 さらに大切なことは、協議されたことを具体的に実現させていくこと

学校運営協議会では、多くの意見が出されていますが、それらをただ話し合いで終わらせるのではなく、学校課題の解決に具体的に結びつけることも大切です。上宇部中学校区の合同学校運営協議会(夢たまごネット)では、協議されたことを具体化する次の協議が早速行われ、小中合同挨拶運動、生徒会が運営する「3校区合同の地域公園清掃」などが新たに開催されました。



コミュニティ・スクールに関する活動情報をお寄せください。HP 更新に活用します。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課

Tel 0836-37-2780 E-mail: ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp